

環境調査結果のお知らせ

本日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

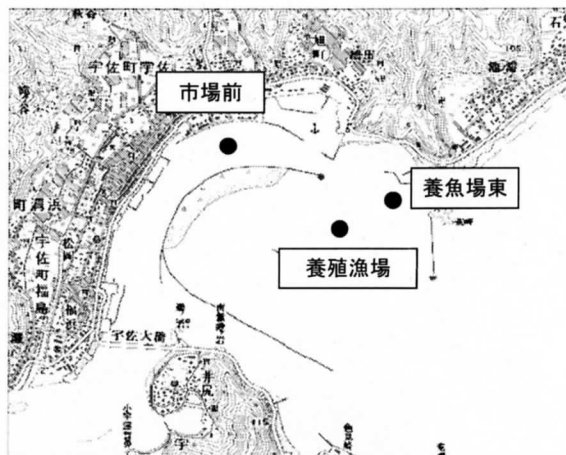
採水サンプルを検鏡した結果、有害種のプランクトンは確認されませんでした。

浦ノ内湾で赤潮を形成しているタカヤマ属は無害とされておりますが、高密度になると貧酸素の原因となります。酸欠の症状がみられた際は餌止めなどの対策を行ってください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	タカヤマ属
市場前	0m	0	0	2,400
	2m	0	0	1,800
	5m	0	0	1,470
養殖漁場	0m	0	0	3,300
	2m	0	0	150
	5m	0	0	180
養魚場東	0m	0	0	970
	2m	0	0	600
	5m	0	0	180
(参考)水試小	0m	0	0	89,100



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ  
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)